

# 八代妙見祭が、世界の宝へ



昨年3月、日本政府は八代妙見祭を含む全国33の「<sup>やま ほこ やたい</sup>山・鉾・屋台行事」を、ユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に記載するようユネスコ本部へ提案しました。今年秋、八代妙見祭がユネスコ無形文化遺産に登録される予定です。八代にとってたいへん誇らしいことです。

世界的に貴重な文化遺産である八代妙見祭をみんなで守っていきましょう。



## ユネスコ無形文化遺産とは？

ユネスコ（UNESCO、国際連合教育科学文化機関）は、世界中の人々の教育、科学、



## 八代妙見祭ってどんなお祭り？

八代妙見祭は、11月22日・23日に行われる八代神社（妙見宮）の祭礼です。神輿、神馬、獅子、花奴、笠鉾、亀蛇、飾馬など40もの多彩な出し物から構成される神幸行列が特徴です。江戸時代以来の伝統を守っていること、九州南部を代表する大規模な祭礼であることなどから、「八代妙見祭の神幸行事」として平成23年3月、国の重要無形民俗文化財に指定されています。



## 山・鉾・屋台行事とは？

日本からはこれまでに、能楽、人形浄瑠璃、歌舞伎、雅楽、組踊、アイヌ古式舞踏、小千谷縮、越後上布、京都祇園祭の山鉾行事、日立風流物、和食、和紙など22件が登録されています。

八代妙見祭は、単独でユネスコ無形文化遺産になるわけではありません。八代妙見祭の笠鉾のような笠型や箱型の出し物を伴う祭礼行事は全国にあり、「山・鉾・屋台行事」と呼ばれています。現在、八代妙見祭を含む33件が国の重要無形民俗文化財に指定され、このうち、京都祇園祭の山鉾行事と日立風流物はすでにユネスコ無形文化遺産に登録されています。この2件に八代妙見祭など31件を加えた33件が「山・鉾・屋台行事」として登録



## 33の祭礼行事はどんなもの？

される予定です。

ユネスコ無形文化遺産となる「山・鉾・屋台行事」33件のうち、最北端は秋田県の八戸三社大祭の出車行事、最南端は八代妙見祭です。そのほか、京都祇園祭の山鉾行事や高山祭の屋台行事、九州では博多祇園山笠行事、唐津くんちの曳山行事、日田祇園の曳山行事、戸畑祇園大山笠行事などがあります。いずれもそれぞれの地域を代表するすばらしい祭礼行事です。



## いつ、どこで決まるの？

「山・鉾・屋台行事」の無形文化遺産代表一覧表への記載は、今年の11月28日からアフリカのエチオピアで開催されるユネスコ政府間委員会で審査される予定です。その結果は市民の皆さんへもいち早くお知らせします。



## 八代で「全国山・鉾・屋台保存連合会総会」が開催されます。

今年の11月22日・23日、八代で「全国山・鉾・屋台保存連合会」総会が開催され、ユネスコ無形文化遺産に登録される33団体をはじめとした全国の「山・鉾・屋台行事」保存団体の皆さんが八代妙見祭を見に来られます。八代と妙見祭のすばらしさを大いにPRしましょう。

問合せ 文化振興課 ☎ 33 45 33